

# 事業報告

## 令和4年度 第1回「地域学校協働活動」関係者研修

日 時：【県北地区】 令和4年7月26日（火） 13：30～15：40  
【県央地区】 27日（水） 13：30～15：40  
【県西地区】 8月 2日（火） 13：30～15：40  
場 所：【県北地区】 宇佐市安心院地域複合支所 多目的ホール  
【県央地区】 大分県立図書館 視聴覚ホール  
【県西地区】 日田市総合文化施設 AOSE 多目的ホール  
参加者：【県北地区】25名 【県央地区】27名 【県西地区】24名 合計76名  
形 式：集合型研修

### <研修趣旨>

コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動を推進するため、地域学校協働活動推進員、「協育」ネットワーク関係者等を対象に、行政説明や情報交流等をとおして活動の意義と連携の方策について学ぶ場とする。

### <研修内容>

#### ○行政説明：「地域学校協働活動の現状と今後について」

説明者：大分県教育庁社会教育課 指導主事 栗本 寛 氏



「地域学校協働活動の現状と今後」について、学校教育と社会教育の違いに始まり、学校と地域のこれからの在り方について詳細に説明した。地域学校協働活動の基礎知識を踏まえ、事例発表、協議・情報交換につなげる構成となっている。

#### ○事例発表：「地域と学校がつながる体制づくり」～行政職員とコーディネーターの役割～

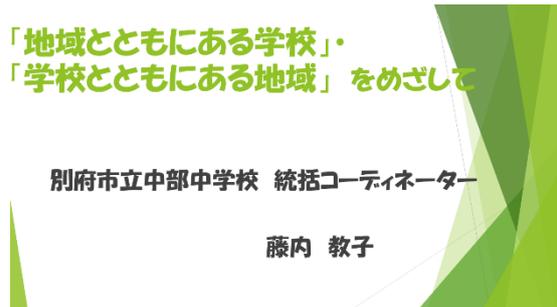
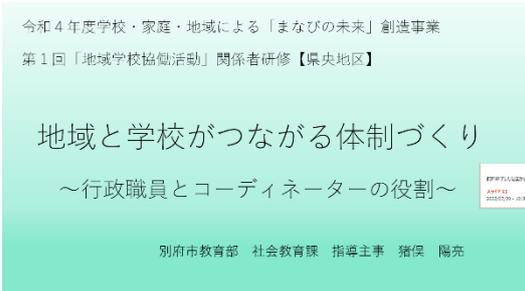
登壇者：【県北地区】 宇佐市教育委員会社会教育課主幹	栗林 和美 氏
宇佐市教育委員会社会教育課副主幹	弓場 健悟 氏
安心院中校区統括アドバイザー（地域学校協働活動推進員）	深見 輝人 氏
【県央地区】 別府市教育委員会社会教育課指導主事	猪俣 陽亮 氏
中部中学校区統括コーディネーター	藤内 教子 氏
【県西地区】 日田市教育委員会社会教育課主幹（総括）	伊東 寿憲 氏
日田市教育委員会社会教育課主査	酒井 浩徳 氏
咸宜公民館館長	河津 孫宗 氏
東部中学校地域学校協働活動推進員	黒木久美江 氏

3地区とも、地域の特色や実態に即した実践的な発表であった。特に県央地区（別府市）の取り組みは、中学校の中にコーディネーターの活動場所があり、小学校区との繋がりも保ちながらの理想型に近い事例発表であった。

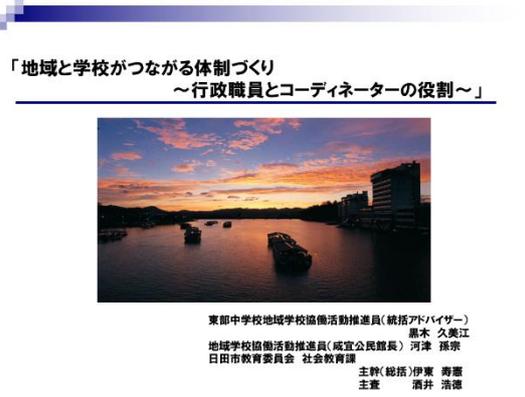
## 【県北地区】



## 【県央地区】



## 【県西地区】



## ＜参加者感想＞

- (北) 安心院地区の交流体験(茶摘み、ソーメン流し)ができることが安心院地区の積み上げた文化だと思う。今こそ、このような取り組み(学校と地域が協働していくこと)が大切に思える。
- (北) 深見の取り組みに感動した。今後も継続してつないで下さい。

- （央）藤内コーディネーターさんの意欲的な取り組みは素晴らしいと思いました。学校の負担軽減に大きく役立っていると思います。手書きの広報紙もすてきだと思います。
- （央）別府市中部中学校区の取り組みに驚きとともに頭が下がります。本市でも是非参考にとと思いますが、本市ではコーディネーターが高齢者教育、人権同和教育、青少年教育の教育指導員を兼ねており、厳しい面があります。ただ、この発表を本市に戻り、環流し、本市なりの取り組みをすすめていきたいです。
- （西）事例発表を聞いて、「それいいね」「そんなことがあるんだ」と興味深かったです。「こんなことをしてみたい」というアイデアが浮かんだので、さっそくしてみようと思いました。
- （西）コーディネーター、ボランティア等兼ねて活動を行っていますので話の内容はよくわかりました。今日の研修をもとに、コーディネーターとしての活動内容を幅広くひろげていきたいと思います。
- （北）学校関係者も入れる機会を設けて欲しい。
- （央）県内の市町村毎にコーディネーターや地域学校協働活動推進員の立ち位置が違います。会計年度任用職員なのか、委嘱をされているだけなのか、コーディネーターは公民館長または公民館主事を兼ねているのか、いないのか。これらのこともきちんと説明していただきたいと、発表を聞くたびに思います（公民館の体制を含め）。放課後支援事業などはどこの市町村も似たようなことをしているので、不登校など特徴的なものの詳細をもっと聞きたいです。
- （西）コーディネーターとして学校支援を行っています。しかし、まだまだ教員が授業でサポートしてもらえる地域の方（例：そろばん、絵画、ミシンかけ他）の声が出ないのが現実です。放課後子どもチャレンジ教室の手伝いはしていますが、スタッフ不足や放課後児童クラブとの関係は切り離せない所があります。